

弊社厚木工場閉鎖に伴う土壌調査結果について

カルソニックカンセイ株式会社（本社：さいたま市北区、社長：呉文精）は、昨年閉鎖した厚木工場（神奈川県愛甲郡愛川町中津桜台、敷地面積約 128,559 m²）において、土壌調査を実施したところ、土壌から鉛が溶出濃度 0.061mg/L（溶出基準 0.01mg/L 以下の 6.1 倍）、含有濃度 33,000mg/kg（含有基準 150mg/kg 以下の 220 倍）、ふっ素が溶出濃度 10mg/L（溶出基準 0.8mg/L 以下の 13 倍）、含有濃度 4,500mg/L（含有基準 4,000mg/kg 以下の 1.1 倍）で検出されましたので、お知らせ致します。

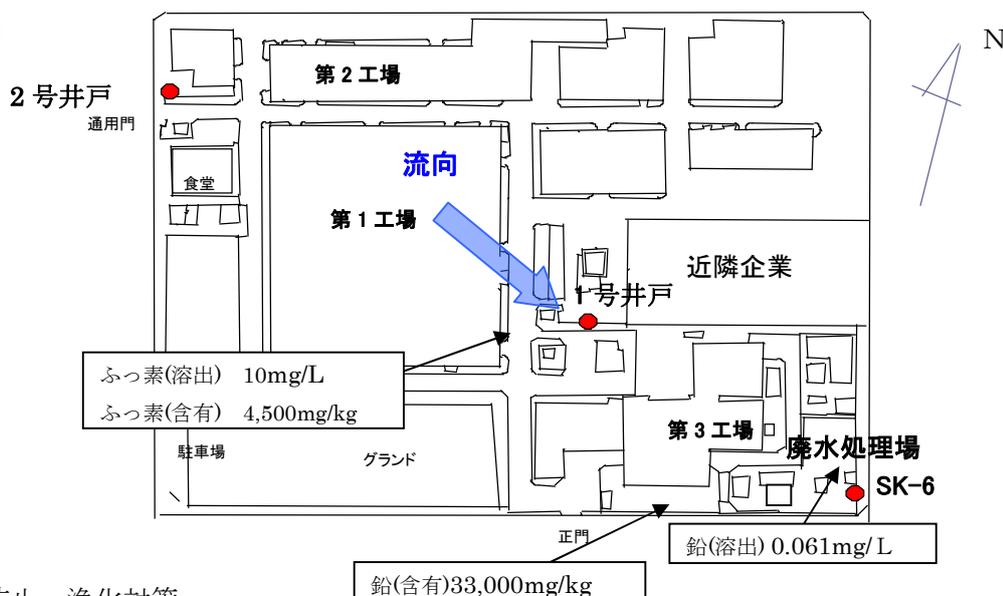
1. 経緯

厚木工場は、1967 年の操業開始時より自動車用熱交換器を生産しており、半田（鉛入り）を銅金属の接着剤として、1987 年まで使用していました。1979 年からは、アルミ金属を素材に使用し、接着剤もふっ素入りとなり、2010 年 9 月の工場閉鎖時まで使用していました。工場閉鎖に伴い、神奈川県生活環境保全条例に基づく土壌調査を実施したところ、廃水処理場隣接土壌等より鉛およびふっ素が検出されたものです。

2. 汚染の状況

- ・土壌：鉛（溶出）0.061mg/L、鉛（含有）33,000mg/kg、ふっ素（溶出）10mg/L、ふっ素（含有）4,500mg/kg。
- ・地下水：土壌溶出で基準値を超過したため、観測井戸 SK-6 で地下水分析を行いました。鉛およびふっ素の汚染はありません。

概略図



3. 飛散防止・浄化対策

現状の土壌について飛散防止対策を行ったうえで、県条例および土壌対策法に従って恒久の浄化対策を進めてまいります。

以上

お問い合わせ先

カルソニックカンセイ(株) コーポレートオフィス（広報：熊谷） (048) 660-2161